

麻生田小だより

NO. 11 令和元年 12月 24日 文責 校長 木下浩文

【学校教育目標】

人間尊重の精神を基盤にし、「礼・学・体」の調和のとれた子どもを育成する

【校訓】美しく(礼) かしこく(学) 強く(体)

2学期終業式



2学期が終了します。大きな事件や事故が無く、終業式を迎えられることを職員一同喜んでいきます。2学期は「一つ上」をスローガンに取り組んできました。見学旅行や修学旅行、そして学習発表会の子どもの様子を見ると、確かにやっただ、伸びた、一つ上上がったと感じる場面がありました。一方で授業や休み時間では、友達が好きであることを言ったりしたりしてトラブルになることもありました。「心かがやけ月間」「人権旬間」の取り組みを通して、自分がされて嫌なことは人にしない、やさしく、思いやりのある人になってほしいと伝えてきました。また、研修や研究授業を通して、わかる授業の実践に努力してきました。その成果が12月に行われた市学力テストの結果にも表れることを期待しています。

多くの行事に保護者、地域の皆様のご協力、ご支援をいただきましたことに、深く感謝いたします。冬休みに入りますが、引き続き子どもたちの見守りをお願いします。

地域からうれしいご連絡

先日、地域の方からうれしい電話をいただきました。お葬式の帰りで気持ちが沈んでいる時に、本校の子どもが気持ちのいい挨拶をしてくれたので、少し元気が出てうれしかったという内容でした。誰かはわかりませんが、全校で紹介しました。「あそびだ運動」に取り組んでいる本校にとって、何よりの誉め言葉でした。

12月の活動アラカルト

12月は各学年で様々な行事や活動が行われました。詳細は各学年通信等で紹介されています。大切なのは、何のためにそれらを行っているかです。それは、学校経営スローガンである「毎日来たくなる学校(わかる授業、いじめのない学級、仲間と楽しい活動)」「安全・安心な学校(命を大切にす指、避難訓練の工夫、安全点検の徹底)」の具現化のためです。これらの活動を通して「学校が楽しい」と感じる子どもが増やすため、保護者、地域の方の協力を得ながら進めています。



ハーモニータイム
(音楽集会)



ミニ門松づくり
(3年PTA活動)



税理士による租税教室
(6年総合学習)



ランランタイム
(業間の全校運動)



集団下校訓練



女子世界ハンド観戦
(5年)

冬休みの過ごし方

いよいよ冬休みです。クリスマス、年末、お正月と冬休みは大忙しです。お正月は日本の伝統文化です。大掃除、餅つき、除夜の鐘、年越しそば、お節料理、初詣など、一つ一つに意味があります。子どもたちにも家の手伝いをさせながら、そういう話をされてはどうでしょうか。冬休みも事故やケガに十分気を付けて、元気に楽しく過ごしてほしいと願っています。

生きる力のために

本校の課題の一つに遅刻の多さがあります。病気やケガは別として、慢性的に十分から十五分くらいの遅刻者が多いです。寒くなってきた十一月、十二月は特に多くなりました。時間を守って登校、出勤することは将来、中学校でも、社会人になっても大事です。生きる力の一つとも言えます。遅刻には必ず原因があります。改善には保護者の方の指導や支援が最も重要です。3学期は、保護者の皆様と連携して、改善に取り組んでいきたいと思えます。

1月の学校行事

- 7日(火) 始業式
- 10日(金) 幼保小中連携の日
- 11日(土) どんどや
- 15日(水) 安全点検、防犯パトロール
- 16日(木) 給食費集金、校区パトロール
- 17日(金) 給食費集金
- 29日(水) 火災避難訓練
- 30日(木) 学びわくわく授業研修
- 31日(金) なのはな学級なかよしコンサート

